

■ 熊本県立河浦高等学校 ■

1 平成 28 年度新体力テストの結果による取組の計画

PLAN

(1) 本校の現状

本校も少子化の影響で生徒数、運動部活動加入者が年々減少してきたが、加入率は平成 26 年度より上昇傾向にある。

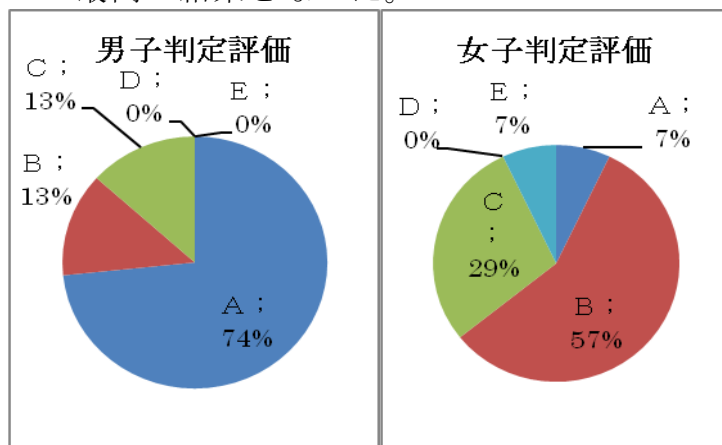
【過去 6 年間の生徒数・運動部活動加入率の推移】

	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
生徒数	1 3 4 名	1 2 4 名	1 2 3 名	1 1 1 名	7 6 名	3 1 名
加入率	7 1 %	6 4 %	6 4 %	6 7 %	7 2 %	9 0 %

(2) 新体力テスト (H 2 8 年度卒業生) の結果と分析

		1 年次	2 年次	3 年次
握力	男	▼		◎
	女	▼		◎
上体起こし	男	▼	◎	◎
	女	◎	◎	◎
長座体前屈	男	▼	◎	◎
	女	▼	▼	▼
反復横跳び	男	◎	◎	◎
	女	◎	◎	◎
持久走	男	▼	▼	◎
	女		◎	◎
50m 走	男	◎	◎	◎
	女	◎	◎	◎
立ち幅跳び	男	▼	▼	◎
	女		◎	◎
ハンドボール投げ	男		▼	◎
	女		◎	◎

(ア) 平成 25 年度以前は県平均を下回る種目が半数以上あったが、平成 28 年度は、ほとんどの種目で県平均を上回り、過去最高の結果となった。



(イ) 判定評価でも、上位者 (A + B + C) が男子 100%、女子 92.8% を達成した。これらの背景には生徒数 (分母) が少ないことも要因としてあるが、学校全体として学校の活性化、体力向上へ取り組んだ成果だと考えられる。

2 平成 28 年度の具体的実践

DO

(1) 保健体育授業での実践

ア 職員参加型授業 (バドミントン、卓球、テニス等)

体育科から全職員へ呼びかけ、球技や長距離走を生徒と一緒に取り組んでもらった。また、職員を含めたトーナメント戦も実施した。

イ ペア・グループでの補強、種目ドリルの考案

補強運動は主にペアで行う体幹トレーニング、動的柔軟トレーニングを実施した。また、球技の授業の前半では、生徒と先生と一緒に考案した課題克服のドリルを反復実施し、評価に組み込んだ。

例) バasketボールのシュートが課題メンバー

→ 30 秒プログラムでランニングシュート、ゴール下シュート、45 度

シュートをローテーションで実施し毎回記録する等

(2) 部の編成と、部活動加入の推進

ア 部編成の変遷

生徒数の減少と、生徒たちの需要をもとに柔軟な部の編成を行った。

	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
運動部	軟式野球 陸上競技 男女バレー 女バスケ ソフトテニス 剣道 弓道 柔道 ゲートボール	軟式野球 陸上競技 男女バレー 女バスケ ソフトテニス 剣道 弓道 柔道	軟式野球 陸上競技 女バレー 女バスケ ソフトテニス 剣道 弓道 柔道	軟式野球 陸上競技 女バレー 女バスケ ソフトテニス 剣道 弓道 柔道	軟式野球 陸上競技 女バレー 女バスケ ソフトテニス 剣道 弓道	軟式野球 陸上競技 女バレー ソフトテニス 剣道 弓道	軟式野球 陸上競技 ソフトテニス 弓道
文化部 同好会	吹奏楽 茶道 手芸料理 探求 文化創作 グリーンライフ	吹奏楽 手芸料理 探求 文化創作	吹奏楽 手芸料理 探求 文化創作 ボランティア	吹奏楽 手芸料理 探求 文化創作 ボランティア	吹奏楽 手芸料理 探求 ボランティア	吹奏楽 手芸料理 探求 ボランティア	探求 ボランティア

イ 部活動加入の推進

(ア) 進路指導を見据え、部活動・同好会加入100%の達成

3年間部活動・同好会を継続するメリットを調査書、履歴書に活用した。

(イ) 全国大会を目指すチームづくり

近年の結果は、平成23年度全国高等学校軟式野球選手権大会ベスト8入賞、平成27年度陸上競技部インターハイ出場等。

(ウ) 合同練習等の推進

陸上部・野球部・その他の部活動との合同練習の実施。地域の野球チームへの指導。地域の社会人チームとの練習試合等。

(3) 体育的行事の充実 (※保護者・地域・同窓生が参加)

ア 閉校記念体育祭

イ クラスマッチ
(親子バレー等)

ウ ロードレース大会

エ 送別ラグビー



3 平成28年度の取組の評価

CHECK

過去には、体育の授業を積極的に受けない生徒もいた。しかし、先生方、保護者、地域の協力もあり以下のサイクルを実現することができた。

☆運動部活動・同好会等に加入！→運動・自分への自信・興味を深める！

→体育の授業にも積極的に参加！→主体的な体育の授業・部活動が実現！！

4 平成29年度の取組の計画

ACTION

本校は、県立高等学校再編整備等後期実施計画により、平成29年3月で閉校する。最後に名誉ある賞をいただいたことを生徒・職員・地域あげて本当に喜んでいる。本校の取組が小規模校などにとって少しでも参考になればと思う。今まで河浦高校を応援してくださった方々に心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。